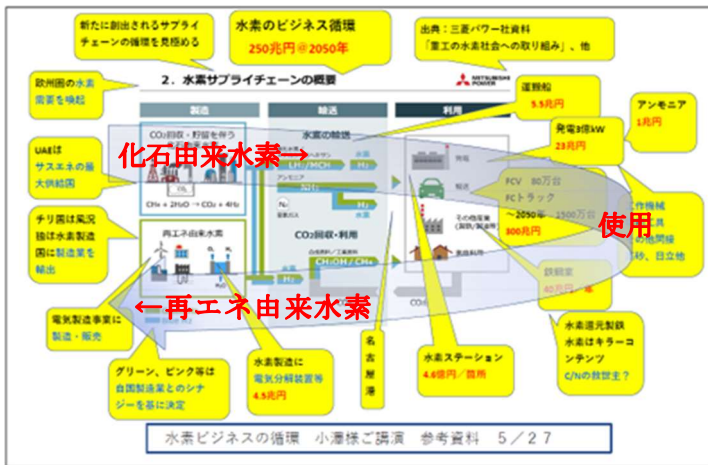


[2022年5月27日開催]

革新的製品創出サロン 水素特別セミナー（開催後記）

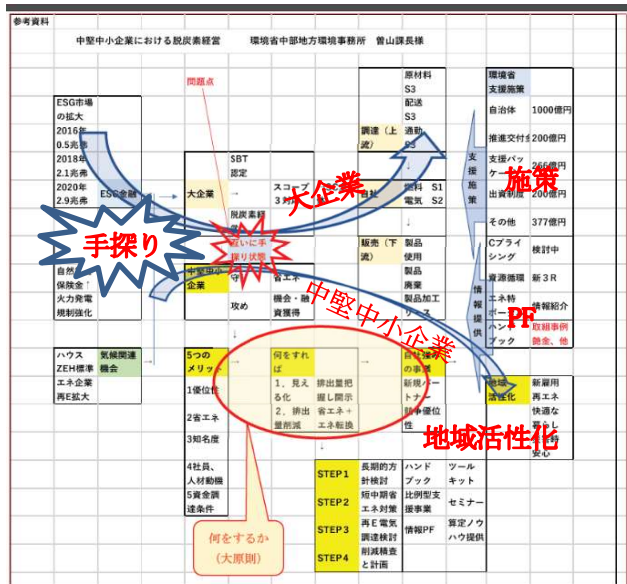
題記の特別セミナーを5月27日（金）にハイブリッド方式で開催しました。エネルギー問題解決の究極の姿の一つとされる水素社会をテーマに2件のご講演を頂戴しました。

★講演1. 中部生産性本部の元会長で本サロンの創設者である小澤正俊氏が「時代は変わる我々は どう 対応すればよいのか？」のタイトルで、水素社会の到来の必然性、発電の問題点、EV化の動向、水素の課題と方向性等を熱く語り、「Never Quit!」と結言されました。



大変幅広い分野に言及されましたが、例えば水素ビジネスの循環の場合、水素のサプライチェーンを構成する各国に、日本の製造業とシナジー関係を有するプラント装置を輸出し、脱炭素に貢献しつつ、当地域の中堅中小企業の活躍の場を設けるような力強いシナリオの推進が欲しいところです。（左図）

★講演2. 環境省中部事務所の環境対策課長の曾山信雄氏から、「中堅中小企業の脱炭素経営」のタイトルで、ものづくり系の中堅中小企業の取るべき対応の解説をうかがいました。



・大企業は ESG 金融からの要請、気候変動リスクを動機に、サプライチェーン全体での脱炭素を公的支援施策等を利用して着実に進めています。（左図上の流れ）中堅中小は大企業の動きを見ながら追走したいが、SCOPE 3の現状は求める側、求められる側も手探りの状態です。
 ・対策として先行企業の様子を横にらみしながら、見える化と削減努力を2030年まで続けることが必要で、用意された施策や情報PFを効率よく利用することが重要となります。

ご講演後に、以下のコメントを曾山講師から頂戴しました。「結論としては平凡に思われるかもしれませんが、将来の変化が見込まれるこの時に、何かできることを見つけ出すことがとても重要と考えています。そのための一歩だと考えていただければ幸いです。」